

単元名	未来につなげわたしたちのまち～自治会のよさを伝えよう～		学年	6年生
内容	B_地域の創生	オ：地域の取組の広報型	総時間数	35
目標	<ul style="list-style-type: none"> ICT技術を用いて自治会について調べ、情報を適切に収集する知識及び技能を身に付ける。 町会の魅力をより効果的に伝えるために試行錯誤をしながら提案案を考える活動を通じて、町会が直面する問題や願いを解決する方法を考える。 下丸子4丁目町会や下丸子3丁目の人々との関わる経験を通して、商店街が直面する問題に対して何が出来るかを主体的に考え、未来を創造しようとする態度を養う。 自治会の役割や地域の魅力を理解し、課題解決に向けた行動を計画・実践・発信する中で、地域社会に主体的に関わる力を育てる。 			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 今年度自分たちがどんな力を生かしたいか考える。 自治会の方々から地域の自治会の現状を聞く。 自治会のよさ、魅力や願いについて知った上で資料を集める。 自治会について調べたことを共有する。 下丸子3丁目町会長や下丸子4丁目町会長から依頼を受ける。 			下丸子3丁目町会 下丸子4丁目町会 タブレット端末
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 町会長の願いをもとに自分たちにできることを考え、プロジェクト企画書を作る。 町会の方々に向けたプロジェクトプレゼンテーションを作る。 町会の方々へ企画提案プレゼンテーションを行う。 フィードバックをもとに企画書を修正する。 			下丸子3丁目町会 下丸子4丁目町会 タブレット端末 プレゼンテーション アプリ
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> 町会の方に最終提案をみてもらい、最終フィードバックを受ける。 実際に地域に足を運び、実践する。 自分たちの取り組みを振り返り、分析する。 3月末に、自治会長から取り組みの成果がどのようであったのかを聞き、授業の振り返りを行う。 自分たちがやった取り組みを5年生に伝える。 			下丸子3丁目町会 下丸子4丁目町会 タブレット端末 プレゼンテーション アプリ
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	話すこと・聞くこと	互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。		9
	話すこと・聞くこと	話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。		
	書くこと	引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。		
社会 (第6学年)	公民	政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現すること。		3
算数 (第6学年)	データの活用	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。		2
理科 (第6学年)				
音楽	表現 音楽づくり	音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと		2
図工	表現	造形遊びをする活動を通して、材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付くことや、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。		2
家庭	家族・家庭生活	家族や地域の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫すること。		2
体育				
外国語				
総合	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。 			15